

はじめに

重点領域研究「総合的地域研究」の成果報告書シリーズの第2集が、ここに刊行される運びとなった。

これは、平成6年2月4日と5日の両日、「地域性の形成をめぐって」というテーマで開催された第2回総括班主催研究集会の成果をとりまとめたものである。この研究集会は、A02班「地域性の形成論理」の研究成果を中心にして展開されたが、A02班以外からも幅広く報告者とコメンテーターを求めた。

以下に、報告者、コメンテーターの一覧を掲げる。

テーマ：地域性の形成をめぐって

趣旨説明 坪内良博（京都大学）

問題提起1・・・「拡大する地域主義—中国という地域世界」

濱下武志（東京大学）

コメンテーター 高谷好一（京都大学）

問題提起2・・・「アフリカにおける地域性の形成をめぐって」

掛谷誠（京都大学）

コメンテーター 栗本英世（国立民族学博物館）

問題提起3・・・「中東の地域性をめぐって」

小杉泰（国際大学）

コメンテーター 上岡弘二（東京外国語大学）

問題提起4・・・「南アジアの地域性をめぐって」

應地利明（京都大学）

コメンテーター 足立明（北海道大学）

問題提起5・・・「言葉遣いをめぐる予備的考察—われわれは何について語ろうとしているのか？」

山影進（東京大学）

コメンテーター 福井捷朗（京都大学）

総合討論 司会：加藤剛（京都大学）

この報告書が、総合的な地域研究についての議論の発展に資するところがあればさいわいである。

文部省重点領域研究「総合的地域研究」総括班

領域代表者 坪内良博